

(別紙)

平成19年度食品の安全性に関する有害化学物質のサーベイランス・モニタリング年次計画

(サーベイランス)

危害要因	調査対象 食品群・飼料	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	19年度の分析予定 点数
総ヒ素	水産物	海藻類に含まれる総ヒ素の濃度分布の把握	乾燥ひじき	120
			水戻したひじき	30
			のり	50
			こんぶ	50
			わかめ	50
			ひじきの水戻しに用いた水	50
無機ヒ素	水産物	海藻類に含まれる無機ヒ素の濃度分布の把握	乾燥ひじき	120
			水戻したひじき	30
			のり	50
			こんぶ	50
			わかめ	50
			ひじきの水戻しに用いた水	50
ダイオキシン類(コブラナーPCBを含む)	農産物	排出抑制対策に伴うダイオキシン類濃度の経年変化を把握	米	20
			麦類	10
			大豆	11
			野菜	17
			果物	18
			茶	5
	水産物	魚介類中の蓄積実態を把握	魚類	174
			貝類	19
			甲殻類	23
			その他水産動植物	20
			部位別調査(内蔵等)	32
			魚類(5品目)	50(内数)
	飼料	排出抑制対策に伴うダイオキシン類濃度の経年変化を把握	動物性油脂	10
			魚油	10
			魚粉等	10
DON(デ オキシバ レノール) NIV(ニバ レノール)	農産物	汚染の全国的な状況及び年次変動の把握並びに平年値の推定	小麦	100 (定点調査35)
			大麦	10 (定点調査10)
	加工食品	加工食品の濃度分布の把握及び摂取量の推定	パン類	100 (国産小麦100%:50点)
			うどん類	100 (国産小麦100%:50点)
		加工食品の汚染実態を種類ごとに把握し、実態調査等の必要性を検討	中華めん類	20 (国産小麦100%:10点)
			即席中華めん類	20
			パスタ類	20
			ビスケット類	20 (国産小麦100%:10点)

危害要因	調査対象 食品群・飼料	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	19年度の分析予定 点数
3-アセチル DON 15-アセチル DON	農産物	汚染の全国的な状況の把握 DON含有量との相関を確認	小麦	妥当性確認後H18 採取小麦 100
オクラトキ シンA	農産物	汚染の全国的な状況の把握	米	100
			小麦	100
	飼料	・年次変動の把握 ・基準値設定のためのデータ 収集	配合飼料	50
			主要穀類等	50
ゼアレンノ	農産物	汚染の全国的な状況及び年 次変動の把握並びに平年値 の推定	小麦	100
アクリル アミド	加工食品	小麦粉を高温で焙煎し製造 する食品の汚染実態を把握 するため予備調査を実施し、 実態調査等の必要性を検討	固形調味料(ルウ)のうち以下のもの	
			カレー	80
			シチュー	10
			ハヤシ	10
			調理缶詰及びレトルト食品のうち以下の もの	
			カレー	80
			シチュー	10
			ハヤシ	10
アクリル アミド (前駆体 の遊離ア スパラギ ン、還元 糖を同時 に分析)	農産物/ 調理食品	野菜類を加熱調理した場合 の影響を把握するため、野 菜中の前駆体(遊離アスパラ ギン及び還元糖)の含有濃 度と調理後のアクリルアミド 濃度について予備調査を実 施し、野菜の種類ごとに実態 を把握	きゃべつ	20
			たまねぎ	20
			もやし	20
			なす	20
			かぼちゃ	20
			ブロッコリー	20
			さやまめ	20
			ピーマン	20
			アスパラガス	20

危害要因	調査対象 食品群・飼料	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	19年度の分析予定 点数
フラン	加工食品	缶詰食品、瓶詰め食品、レトルト食品、調味料類、ベビーフード、嗜好飲料の汚染実態を把握	野菜缶詰	18
			果実缶詰	12
			カレー缶詰	5
			シチュー缶詰	5
			ミートソース缶詰	5
			食肉野菜煮缶詰	5
			スープ缶詰	10
			レトルト食品(カレー)	50
			レトルト食品(シチュー)	5
			レトルト食品(ハヤシ)	5
			レトルト食品(スープ)	10
			レトルト食品(パスタソース)	20
			レトルト食品(どんぶりのもの)	10
			ベビーフード(レトルト食品)	40
			ベビーフード(瓶詰)	40
			ベビーフード(飲料)	20
			コーヒー(缶飲料)	50
			コーヒー(缶飲料以外)	30
			茶類(缶飲料)	15
			茶類(缶飲料以外)	15
			野菜飲料(缶飲料)	15
			野菜飲料(缶飲料以外)	15
			しょうゆ	30
			めんつゆ	20
			調味料類	20
			みそ	30
メチル水銀	水産物	魚中の蓄積実態を把握	キハダ	100
			クロマグロ(天然)	60
			クロマグロ(畜養)	90
			ピンナガ	105
			メバチ	53
			クロカジキ	98
			メカジキ	83
			キンメダイ	84

(モニタリング)

危害要因	調査対象 食品群・飼料	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	19年度の分析予定 点数
カドミウム	農産物	低減対策の効果の検証	米	1200
	飼料	違反品の回収及び基準値の 見直し	配合飼料	140
			魚粉等	60
アフラトキ シン類 ^{*1}	飼料	違反品の回収、高汚染時の アラート発出及び基準値の 見直し	配合飼料	300
			とうもろこし	50
			その他の飼料原料	100
ゼアラレノ ン	飼料	違反品の回収及び基準値の 見直し	配合飼料	50
			主要穀類等	90
DON	飼料	違反品の回収及び基準値の 見直し	配合飼料	80
			主要穀類等	90
残留農薬	農産物	農産物に使用された農薬の 残留状況を把握するととも に、使用状況及び残留状況 を解析して農薬の適正使用 指導に資する	米穀	100
			麦類	100
			大豆	100
			えだまめ	100
			だいこん(根)	100
			はくさい	100
			キャベツ	100
			レタス	100
			いちご	100
			ピーマン	150
			トマト	150
			きゅうり	150
			ほうれんそう	150
			にら	150
			みずな	150
			みかん	100
			りんご	100
			ぶどう	100
			もも	100
	飼料	違反品の回収、高汚染時の アラート発出及び基準値の 見直し	配合飼料	395
			乾牧草	55
			主要穀類	100
			その他の飼料原料	110
無機ヒ素	飼料	違反品の回収及び基準値の 見直し	魚粉等	30
水銀	飼料	違反品の回収及び基準値の 見直し	配合飼料	140
			魚粉等	60
鉛	飼料	違反品の回収及び基準値の 見直し	配合飼料	140
			魚粉等	60

*1 基準値はアフラトキシンB₁のみに設定されている